

INFORMATION



千里ライフサイエンスセミナー

がんシリーズ第1回 「細胞周期制御異常とがん」

日 時：平成19年7月4日(水) 10:00~17:00

場 所：千里ライフサイエンスセンタービル5階
ライフホール

主 催：財団法人千里ライフサイエンス振興財団

着眼点：増殖能を持つ正常細胞は、複製・分裂の途上において遺伝子や染色体の異常が生じると、一時的に細胞周期を停止しその異常を修正する（あるいは細胞死や老化を誘導する）ことによって、異常細胞が増殖することを防いでいる。この機構をチェックポイントと呼ぶ。細胞周期の各フェーズに設定されたチェックポイントは、様々な細胞内分子が連係することにより制御されており、それらの分子自身あるいは連係に異常が生じることにより、多発性の遺伝子変異や染色体の不均衡分配など「ゲノム不安定化」が発生し、細胞の腫瘍化ならびに悪性化が生じてくると考えられている。本セミナーでは、細胞周期異常から癌化にいたるモデルとその分子基盤をG1→S→G2→M期の順に解説し、細胞周期を全体として把握することによって発がんのメカニズムをより深く理解し、その知識に基づいた新たな治療戦略を考案するための素地を聴衆の皆さんと作り上げたい。

コーディネーター：

大阪大学大学院 医学系研究科 内科系臨床医学専攻 教授 金倉 譲 先生
慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門 教授 佐谷 秀行 先生

プログラム：

始めに：細胞周期の基本 佐谷 秀行 先生

1. G0-G1 期を制御するユビキチンリガーゼと発がん

東北大学大学院 医学系研究科 発生分化解析分野 教授 中山 啓子 先生

2. クロマチンリモデリングによる P53 機能の制御

九州大学 生体防御医学研究所 分子発現制御学分野 教授 中山 敬一 先生

3. Jab1 を介した細胞周期制御と発がん

奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 動物分子遺伝学講座 教授 加藤 順也 先生

4. Cdc7 キナーゼによる複製フォーク制御を介したゲノム安定性維持の分子機構

東京都臨床医学総合研究所 ゲノム動態プロジェクト 参事研究員 正井 久雄 先生

5. 細胞分裂の異常と発がん

慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門 教授 佐谷 秀行 先生

6. 細胞老化と癌抑制

徳島大学 ゲノム機能研究センター 蛋白情報分野 教授 原 英二 先生

終わりに 金倉 譲 先生

参加費(講演要旨集含む)：3,000円(大学・官公庁職員、財団の賛助会員)；5,000円(一般)；1,000円(学生)

定員：300名

申込方法：氏名、〒所在地、勤務先、所属、電話およびFAX番号を明記の上、郵便、FAXまたは電子メールで下記宛にお申込下さい。受付の通知

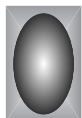
を返送いたしますので、通知書に記載した振込先口座に参加費をお振込み下さい。入金を確認後、領収書兼参加証を送付いたします。

申込先：

(財) 千里ライフサイエンス振興財団セミナー
(X1)

TEL：06-6873-2001 FAX：06-6873-2002

E-mail：dnp-lsf@senri-lc.co.jp（注：lsfは「エルエスエフ」、lcは「エルシー」）



理化学研究所脳科学総合研究センター知的脳機能研究グループ チームリーダーおよびユニットリーダー公募のお知らせ

理化学研究所・脳科学総合研究センター（BSI）知的脳機能研究グループは、この度新たなチームリーダー（TL）またはユニットリーダー（UL）2名程度の公募を行います。知的脳機能研究グループは「脳を育む」領域に属し、象徴概念発達研究チーム（TL：入来篤史）、生物言語研究チーム（TL：岡ノ谷一夫）、言語発達研究チーム（TL：馬塚れい子）からなり、人間の知的脳機能の基盤を担う抽象概念の形成と操作やコミュニケーションなどの能力の、系統進化や生後発達の過程の神経メカニズムを研究してきました。本グループにこの度新たにチームあるいはユニットを2つ程度設置することになりました。今回新しく設置されるチームまたはユニットは、人間の情動と社会性に関わる脳内機構の理解につながる広い範囲の基礎的な研究を、BSIの現存研究チームと相補しながら展開することが期待されます。

チームリーダーは一定の研究費を受け、10名前後の研究員およびテクニカルスタッフからなるチームを組織して研究を行います。ユニットは小型で、3～5名程度の構成です。チームリーダーおよびユニットリーダーともに、年度毎の雇用契約で、給与は、経験・能力・実績に応じた年俸制です（その他の待遇は当研究所規程による）。また、5年ごとに国際評価委員会による評価を受け、高

い評価を受けた場合は研究チーム・ユニットを更新できます（ただし、ユニットの研究期間の上限は10年です）。応募者の国籍は問いませんが、BSI常勤を条件とします。またチームリーダー・ユニットリーダーは、リーダーシップを発揮し、国際的に研究を推進し、またBSIの他チーム・ユニットとの共同研究を大きく展開させることが期待されます。着任時期は決定次第協議します。当研究センターおよび理化学研究所に関する情報は以下のホームページに掲載されています（<http://www.brain.riken.jp>）。

応募を希望される方は、1) 履歴書、2) 発表論文リスト、3) これまでの主な研究成果、4) これからの研究計画（A4用紙4枚以内）、5) 3名の照会可能者の名前と連絡先を以下までお送り下さい。また質問等は、脳科学総合研究センターサーチ小委員会25(search25@brain.riken.jp)までお問い合わせ下さい。

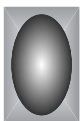
理化学研究所 脳科学総合研究センター サーチ小委員会 25

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2—1

ファックス：048-462-4914

E-mail：search25@brain.riken.jp

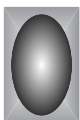
応募締切：2007年7月31日（必着）



第 54 回中部日本生理学会・第 100 回近畿生理学談話会合同大会 (第 1 報)

日 程：2007 年 10 月 19 日（金）20 日（土）
 会 場：三重大学大学院医学系研究科
 先端医科学教育研究棟および三翠ホー
 ル
 当番幹事：三重大学大学院医学系研究科
 山本 哲朗・山崎 英俊
 連 絡 先：〒514-8507
 三重県津市江戸橋 2—174
 三重大学大学院医学系研究科システム

神経科学内
 第 54 回中部日本生理学会・第 100 回
 近畿生理学談話会合同大会事務局
 (担当：河村)
 TEL：059-231-5548,
 FAX：059-231-5005
 E-mail：kaori-k@doc.medic.mie-u.ac.jp
 参加登録・演題受付要領：第 2 報（6 月中旬予定）
 にてご案内申し上げます。



生理学研究所大学院生募集および説明会のご案内

自然科学研究機構生理学研究所 (<http://www.nips.ac.jp/>)では、人体の機能を解明することを目指し、分子からシステムに至る広範なレベルを有機的に統合した先端的研究を進めています。大学院（総合研究大学院大学生命科学研究科生理科学専攻）として、博士号の取得が可能な博士後期課程（修士卒相当での入学）と 5 年一貫制博士課程（学部卒相当での入学）があり、意欲ある若い研究者の参加を求めています。興味のある方は、下記問い合わせ先あるいは生理学研究所ウェブサイトから各研究部門にご連絡ください。また、平成 20 年度大学院入学のための説明会を以下のように開催いたしますので、気軽にご参加ください。

日 時：2007 年 6 月 16 日（土）13：00～18：00
 場 所：生理学研究所 5 階講義室
 （愛知県岡崎市明大寺町西郷中 38）
 内 容：各研究部門の研究内容紹介と見学
 詳細は
<http://www.nips.ac.jp/daigakuin/> をご
 覧ください。
 問い合わせ先：
 生理学研究所発達生理学研究生殖・内
 分泌系発達機構
 箕越靖彦
 TEL：0564-55-7745
 e-mail：minokosh@nips.ac.jp